



沖縄高専だより

Okinawa National College of Technology



(平成21年度入学式の模様)

目次

◆校長より(岩手県と石垣島の「かけはし」)	2	◆沖縄高専地域共同テクノセンター活動紹介	11
◆総務主事・教務主事あいさつ	3	◆学生会より	12
◆学生主事・寮務主事あいさつ	4	◆寮生会より	13
◆第1学年担任・第2学年担任より	5	◆留学生紹介	14
◆学科長より		◆後援会長あいさつ・沖縄高専内に「留学生交流促進センター」設置	15
機械システム工学科・情報通信システム工学科	6	◆オープンキャンパス参加者数の推移	16
メディア情報工学科・生物資源工学科	7	◆平成21年度九州沖縄地区国立工業高等専門学校体育大会の結果一覧	17
総合科学科	8	◆アイディア対決・全国高等学校ロボットコンテスト2009九州沖縄地区大会開催!	18
◆専攻科長より	8	◆平成21年度人事異動について	19
◆JABEEへの取り組み状況・学生相談室より	9	◆裏表紙(平成21年度(後期)行事予定表)	20
◆図書館・保健室より	10		



岩手県と石垣島の「かけはし」

校長 系村 昌祐

ダムの水位が下がり、今年は空ツコかと心配された沖縄の水事情も、梅雨明け前のある程度の雨が降ってホッとしていました。しかし、沖縄県、九州南部、関東・甲信越地域以外は7月末になっても梅雨明けしないばかりか、集中豪雨や竜巻の発生が報告されたり、梅雨が無いと言われている北海道でも曇りや雨の日が多く、長雨による根菜類の傷みや冷夏の予測で米の収穫減が心配され、「列島夏の異変」とテレビのニュースが報じています。

16年前の1993（平成5）年、梅雨前線が長期間日本にとどまったため、日照不足と長雨による影響で米の収穫量が需要を大きく下回り米不足現象が起こりました。「泡盛」の原料として用いられ、日本の米とは形や食味そして調理法が異なるタイ米が、日本政府の要請を受けたタイ政府の配慮で緊急に260万t輸入されました。

当時、岩手県ではこの冷害のため米の収穫が激減し、翌年に田植えをするための十分な種もみを確保することも危ぶまれました。丁度、県の農業試験場が10年をかけて研究開発していた「岩手34号」という新品種が冷害に強いことが分かり、平成6年から県内で大々的に作付けしようとしていた矢先の大冷害で、この品種の作付け希望者が急増しましたが、希望者全員に供給するのが難しい状況でした。窮余の一策で、岩手県農政部では二期作を行っている沖縄県への協力依頼を考えます。石垣島の農家の協力を得て、わずかに残った種もみから冬の間に石垣島で稲を育てて種もみを増やし、そのまま岩手の種まきに間に合わせようという前代未聞の計画でした。この計画に石垣島の農家の方が応えます。二期作地帯の石垣島でも、このときは通常の一季作の田植えより2ヶ月も早く行われています。12月はじめに種もみ2tが運び込まれ、種まき、育苗と進み、1月中旬の田植え、4月の出穂、そして5月7日には当初予定の72tを大幅に上回る116tの種もみが収穫されました。平成6年の秋、石垣島産の種もみ「岩手34号」は「かけはし」と命名され大豊作をもたらしました。研究者の地道な努力、二期作の沖縄で種もみを増やそうという発想、石垣島の農家の協力、技術指導者として失敗の許されない種もみ増殖生産管理のため半年間石垣島に移り住んだ岩手県職員など多くの人々の努力と協力の結果が実った話です。

就職・進学とそれぞれの道に1期生が進んで4ヶ月、彼・彼女たちはそれぞれの立場で努力していることでしょう。7月上旬に開催された高専体育大会地区大会で別府に出張した際、応援に来ていた1期生から、3直体制（8時間交代の現場勤務）に入って頑張っていると聞きました。琉大工学部に3年次編入した学生が、高専と異なる実験やレポートの提出で苦労しているとは、琉大の二つの学科の先生から別々に聞きました。日本全体の経済状況が厳しくなった影響で、昨年のこの時期に比べて、2期生の諸君は就職面、3期生の諸君もインターンシップ先の決定で苦労しています。沖縄高専に対して社会の評価が問われるのはこれからでしょう。

いつの日か、沖縄高専の卒業生諸君の「努力」が多くの人々との協力の結果、沖縄ひいては日本・世界のために実る日が来ることを期待しています。

（8月3日 新型インフルエンザの感染拡大のため臨時休校中の校長室で）

総務主事あいさつ



総務主事
松 栄 準 治

総務主事は本校の組織編成や予算、将来計画および自己点検・評価に関する事項を担当しています。保護者や学生の皆様に関連する事項としては沖縄高専の第2期中期計画の策定、日本技術者教育認定（JABEE：Japan Accreditation Board for Engineering Education）の受審準備、自己点検・評価の実施が有ります。一つの目標であった専攻科の設置につきましては、前任の総務主事であった真鍋教授、水野教授並びに専攻科設置委員会委員長であった知念教授のご尽力により無事開設の運びとなり、第一期生を受け入れ、第二期生の選抜も終了しております。

1. 組織編成・予算関連につきましては、昨年度より予算配分委員会を立ち上げ資産の有効活用のための施策立案を始めていますが、沖縄高専の活動が活発となるようより的確で有効的な配分を推進していきます。
2. 本年度から沖縄高専の第二期中期計画（今後5年間）が始まります。高専機構の方針を受けて沖縄高専の色を出した計画を策定していきます。
3. 平成22年度に高等専門学校機関別認証評価の受審（自己点検・評価活動）、平成23年度にJABEEによる技術者教育プログラムを受審します。

これらの活動を通して、より多くの優秀な学生を輩出する教育体制を構築し、地域および日本のものづくりに貢献することを目指します。

教務主事あいさつ



教務主事
高 木 茂

21年3月に一期生が卒業しました。一期生に対する平均求人倍率は約18倍を超え、就職率100%を達成することができました。また、進学では専攻科に28人、全国の国公立大学等の3年次に編入学した学生は42人に達しました。これら数値は誇るべきものと考えられます。沖縄高専が就職にも、進学にも強いことを示すことができました。また、高専ロボコン全国優勝をはじめとして、様々な大会やコンテストで入賞し、課外活動でも強いことを示しました。

しかし、一期生は入学時に175人いましたが、5年で卒業できた学生は147人（84%）にとどまりました。進路変更あるいは成績不振による留年等が原因です。中学校までと異なり、高専では目標を持って自主的に勉強や日常行動を進める態度が求められます。このことは、社会でもっと強く求められます。いまのうちに、しっかりこの態度を身に付けましょう。進路や勉強に悩んだら早めに教員に相談しましょう。教員は全力で皆さんをサポートします。

高専は社会への橋渡しの期間です。4年次に行われるインターンシップがその第一関門です。ここで、社会人として何がもとめられているかを、しっかり認識できれば、その後の就職や進学がスムーズに行きます。また、視野を広げることができます。

去年の中頃から、景気が非常に悪くなり、就職戦線は厳しくなっています。去年であれば通ったレベルが、今年は断られるという事例が増えています。また、インターンシップ先も絞られてきています。しかし、やる気のある学生はいつの時代でも受け入れられます。自分は何を目指して、今何をすべきかを自問自答し、自分に磨きをかけるようにして下さい。

学生主事あいさつ



学生主事
眞喜志 隆

課外活動に関して、今年度は、本校が主管となる大きな大会が二つ開催されます。一つは全国高等専門学校体育大会のバスケット競技が8月21から23日に宜野湾市体育館を中心に開催致します。この大会には、本校の男子バスケット部員も競技に参加致します。もう一つはアイディア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト(高専ロボコン)の九州沖縄地区大会が11月1日に名護市21世紀の森体育館で開催いたします。本校は昨年度には全国優勝しており、大きな注目を集めております。さらに来年度に本県で開催される高校総体(ちゅら島総体)の準備にも取り組んでいます。部・同好会活動では、顧問教員には日々の指導や引率等で熱心に対応していただいておりますが、個々の教員では負担が大きく、保護者の方々のご協力も欠かせません。課外活動へのご支援を今後ともよろしくお願い致します。

学生会活動では、本校後援会のご理解とご協力で予算を確保でき、学生会主催の各種行事の企画・課外活動の運営等を行なっております。また、今年度から本校挙げての省エネ・省資源活動である「エコアクション21」への取り組みも、学生会を中心に行なうこととなっております。

生活指導面では、懲戒処分学生数は増えていないものの、飲酒・喫煙と交通違反に関する事例が増えてきているように感じられます。飲酒・喫煙は20歳に達するまでは法律で禁止されていることは当然として、20歳以上の学生の飲酒喫煙も学内及び学校周辺では学則で禁止しております。生活指導面では、保護者の方々に置かれましても、ご家庭でのご指導・ご助言をお願い致します。

寮務主事あいさつ



寮務主事
濱 田 泰 輔

学生寮では初めての卒業生を送り出し、替わって新1年生、留学生、専攻科へ進学した先輩と様々な学年の諸君を受け入れて新たな生活が始まりました。新入寮生の皆さんは全く違った生活環境や仕組みに戸惑いもあったかもしれませんが、寮生活にも慣れて来ていることではないでしょうか。2年生以上の寮生の皆さんも新入生の模範となるような生活を送ってください。

学生寮は共同生活の場です。各自の思い通りの生活ができにくいこともあるかもしれませんが、しかし、寮生活で得られるものは寮生の皆さんにとって大きいものとなるでしょう。寮生全員一人一人が協力し合って毎日の生活をより良いものに作り上げてもらいたいと思います。



★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 第1学年担任より ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★

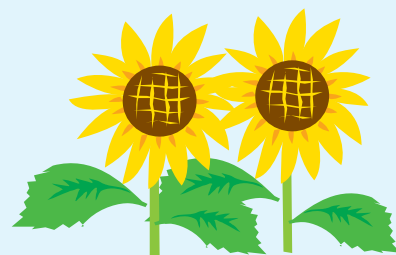
第1学年主任 青木久美

入学当初は、不安と緊張の固まりのような新入生諸君でした。親元を離れた、おそらく生まれて初めての共同生活。自由な校風のなかで要求される自律性と責任感。中学を卒業したばかりの新入生がとまどい、不安を覚えるのも無理ありません。

そんな彼らの短期間における成長には目を見張るものがありました。学校や寮での生活にも柔軟に馴染み、自らの手で同級生や上級生との関係を築きあげました。挨拶の習慣、敬語の使い方なども身につけてくれました。また、入学早々に実施された体育祭では、限られた時間の中でお互いに協力しながら問題を解決していく姿勢が要求されましたが、与えられた試練を立派に乗り越えることができました。この経験は、沖縄高専の「学生」としての自覚を深めるよい機会にもなったようです。

ただ、張り切りすぎていた面もあったようで、期末試験を目の前にした現在、少し疲れぎみの様子が目につくようになりました。夏休みには苦手科目の復習に力を入れるとともに、休養のほうも十分にとっていただきたいと思います。

学生諸君に秘められた可能性が、一輪一輪、大きく花開きますように、今後ともご支援とご協力をよろしくお願い申し上げます。



★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ 第2学年担任より ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★ ★



第2学年主任
澤井 万七美

2年目の高専生活もはや半ばとなりました。1年次よりも質量ともに充実した専門科目の勉学に、またクラブ・各種委員会の活動に、大いに力を発揮してくれています。

「やっと1年が終わったところ」ではありますが、3年次での研修旅行、4年次でのインターンシップ等がやってくるのもあつという間です。未来への模索は、早すぎるということはありません。5月初旬より、内外の講師による「進路に関する講話」や、学科担任及び上級生による特別活動での進路指導を実施しております。それらを通じて、社会への関心を高め、より広い視野をもってそれぞれの未来像をデザインしていただきたいと思います。

一方、環境に慣れたがゆえの気の緩みも生じやすい時期です。好奇心を持つのは良いことですが、あくまでも自律の精神を忘れることなく、学生生活を楽しんでほしいと思います。

今後も保護者の皆様方の御理解ならびに御協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い申し上げます。





機械システム工学科長
中本 正一朗

君の夢を実現しよう! 世界にはばたく技術者の育成を目指して

機械システム工学とは何だろうか?

機械システム工学科では君が観測する対象を記述し、分析することにより、現象の背後に潜むからくりを理解します。これは、直面する問題を解決する巧みのわざ(技術)と呼ばれます。

自然現象が動作するからくり(mechanism)や現象の背後に潜む自然法則(law)が誰にもわかっていない困難な場面に君が直面した時にも、沖縄高専の機械システム工学科で習得した方法は君の問題を上手に解決するのに役に立ちます^(註)。

沖縄高専機械システム工学科の専門教育分野は、『材料システム』、『設計システム』、『システム制御』の3分野に分かれています。これらは固体物理学や数学を応用した専門分野です。ここではコンピュータを利用しながら、「材料の選択」、「強度・機能・性能を満足させるための設計と加工の方法」、「最高性能発揮のための全体を見渡した制御方法」などについて学びます。レーザー加工機・マシニングセンタ・大規模CAD・CAM・CAE等の教育設備は大学を含めた工科系高等教育機関の最高設備に比肩できます。沖縄高専で実験と観測と理論に習熟し、これらを実践する能力を身に付ければ、君は世界トップの技術者になることができます。

現在は教員12名・技術職員5名が、講義・実習を担当いたします。学生数は、専攻科5名・第5学年36名・第4学年46名・第3学年37名・第2学年39名・第1学年43名です。卒業生の就職率は100%です。

(註): 機械仕掛けの時計の動作のからくり(mechanism)は時計を構成する多数の歯車の動きを理解すればわかります。このように各部分のからくり仕掛けで時が刻まれる時計という総体(システム)は機械システム(mechanical system)と呼ばれます。では工学とは何か? 困難な問題に直面したときに、それを上手に解決することは工(たくみ)の学(engineering)です。機械システム工学という言葉は機械という言葉にシステムと工学という2つの言葉が付けられています。したがって機械システム工学では君が観測する現象を数理物理学の方法を用いて記述し、そのからくりを理解する自然哲学(Natural Philosophy)の手法が用いられるのです。第2次大戦時に誰も知らなかったノルマンジー沖の波浪予測を上手にやり遂げたのは連合国側の機械工学者たち(mechanical engineers)だったのです。工学者とは解決方法が誰にもわかっていない困難な問題を解決する巧(たくみ)であるといっても良いでしょう。



情報通信システム工学科長
石田 修己

情報通信システム工学科では、情報通信関係の幅広い技術を、ものにふれながら学んでいます。パソコンで見たり聞いたりものを動かしたりするソフトウェア技術、遠く離れた人やパソコンと情報交換する通信技術、これらの機能を実現するための半導体、回路、システムの技術を勉強しています。勉学だけでなく、ロボコンチームへの参加、LSIデザインコンテスト、パソコン甲子園の受賞など、全国レベルの活躍をしています。3月には初の卒業生が巣立ち、17名が県内外に就職、9名が主として県外の大学3年次に編入、9名が今年新設された専攻科に進学しました。4月にはこの専攻科生と本科新生42名、留学生1名を迎えました。教員は、1名加わり、2名の異動により、現在9名の体制です。新任の金城伊智子助教は、北海道大学大学院システム情報工学専攻修了後、沖縄大学マルチメディア教育研究センターと沖縄国際大学産業総合研究所で意思決定に関する研究に携わりながら、沖縄大学、沖縄国際大学、琉球大学および名桜大学の非常勤講師として4年間教育経験を積んで本学に着任しています。本学科の特徴として情報通信関連技術をほとんどカバーすることから、これを修得した卒業生に対して、情報通信産業に限らず幅広い産業から期待が集まっているという印象を受けました。企業経験のある教員と教職経験の豊かな教員が協力して、今後とも社会で幅広く活躍できる技術者の育成に努めます。また、教員それぞれの専門技術で地域産業にも協力して行きたいと思っておりますので、よろしくお願い致します。



メディア情報工学科長
正 木 忠 勝

メディア情報工学科はコンピュータの基礎及び応用技術を取り上げる情報工学を専門に学ぶ学科です。本学科には3つの教育の柱があります。一つ目はコンピュータのハードウェア/ソフトウェアを学ぶコンピュータ技術分野、2つ目はインターネット技術に代表されるネットワークやセキュリティ技術を学ぶネットワーク技術分野、3つ目はコンピュータグラフィックスや情報の表現方法を学ぶコンテンツ技術分野の3つの分野について5年間で専門技術を学びます。本学科ではカリキュラムに沿った教育だけではなく、学生の情報処理技術者試験などの資格試験の取得やコンテストへのチャレンジを積極手に支援しています。

本年度、新たに主にモバイル通信分野を担当される鈴木大作講師が着任しました。鈴木講師はパナソニックで19年間、携帯電話やブルーレイレコーダを第一線で19年間の開発した実務経験をお持ちの先生です。本学科において企業での経験を活かし、社会で通用する実践的な技術教育に貢献して頂けることを期待しています。

また、本年3月には本学科から第1期生40名が卒業しました。40名のうち12名が国立大学や専攻科に進学、27名が県内外の企業に進学、1名が留学しました。卒業生からは各進路先で頑張っている旨の近況報告が学校に多く寄せられています。

2期生以降についても社会で実践的に活躍できる技術者の育成に努めたいと考えています。今後ともご理解とご協力をお願いします。



生物資源工学科長
池 松 真 也

“生物資源工学科って、どんなことを勉強するところですか？”

お陰様で、本年3月には一期生も卒業し、4月には専攻科が設置され、沖縄高専も「完成型」に向けて最終段階に入っています。当学科の学生も1年生から5年生まで、そして、新しく加わった専攻科1年生、皆元気に生き活きと高専生活を過ごしているようです。

そこで、改めて最初の質問です。生物資源工学科は、(1)生物化学工学群、(2)環境・微生物学群、(3)食品化学工学群の3群を軸に講義・実習が編成されています。現在、開設から5年経過し、インターンシップ、就職、大学への編入学を経験し、当学科に要望されていること、我々が準備していかなければならないことが明確になりつつあります。

ご存じのように、全国55の国立高専の中で学科名で「生物資源」を冠している学科は沖縄高専の当学科のみです。よって当然、この関係の企業・大学から期待されている部分も大きいようです。学科学生の進路の幅(夢のふくらみ?)を広げるため、昨年よりカリキュラムの変更・改正に着手し、より学びやすい、満足度の高い学科に向けて教職員一同全力で取り組んでいます。

時節柄、今年の就職・編入学は近年になく厳しいものになっていますが、5年生は全力で立ち向かっています。学生一人一人の夢の実現を確実にする学科を目指し精進致します。今後とも、皆様方の一層の暖かいご支援、ご指導をよろしくお願い申し上げます。



総合科学科長
成田 誠

我が沖縄高専は「開拓精神あふれる技術者の育成」を理念の1つに掲げています。開拓、すなわち知識の最前線に立つための必要条件として、高い基礎能力を持たなければなりません。科学技術の進歩・発展に“天の声(全く新しいアイデアが突如湧いてくること)”など無いからです。更に、確固たる基礎能力を身に付けるには地道な努力、飽くなき反復練習以外にはありません。総合科学科は現代科学技術の基礎となる自然科学・数学を学生に教えるために存在しています。また、科学技術者の基本として、国語・英語・第二外国語・健康科学・社会科学・芸術などコミュニケーション・論文執筆・広い知識教養に関わる科目も総合科学科の担当です。これらは「社会の発展に寄与する技術者の育成」、「人々に信頼される技術者の育成」という理念に通ずるものです。

本年度から専攻科(大学3、4年に相当)も開講し、沖縄高専は新たな一步を踏み出しました。総合科学科は本科学生に対してはこれまでと同様に、更に専攻科の学生には科学に対するより深い洞察とより厳密な研究法を専門学科と共に教授してまいります。

専攻科長より



専攻科長
知念 幸 勇

沖縄高専の専攻科が4月に設置され、定員24名の募集に対して、機械システム工学コース:5名、電子通信システム工学コース:9名、情報工学コース:5名、生物資源工学コース:9名の28名が高専本科から進学しました。これまで他高専では、専攻科1期生のほとんどは卒業生で構成され、また定員を大幅に下回る例が多かったのですが、沖縄高専の専攻科の場合、多くの本科学生が入学時から関心をもっていたことや、専攻科設置にむけた教職員一丸となった取り組みがあったことが今回の入学者数増になった要因といえます。専攻科定員増の申請時に、機構本部や文科省から入学者数確保の根拠と見通しを厳しく問われました。すでに2期生の入試選抜も終わり、推薦26名、学力13名の合格者がでており、来年度も1期生と同等以上の入学者数が期待できます。

専攻科進学のメリットとして大学3年次編入に比べ学費が大幅に安いことがあります。さらに奨学金の採用率も高いことがあげられます。1期生の日本学生支援機構奨学金採用率は100%で、申請者14名(1種、2種延べ20名)全員が採用されています。経済的な事情で大学進学が困難な学生も専攻科に進み学位を取得することができます。

専攻科の科目は大学と同じ学修単位です。45時間の学習で1単位が与えられます。本科では30時間で1単位でした。しかし専攻科の場合、多くの科目で講義時間が1/3の15時間で1単位となり、座学では、見かけ上、本科の半分の授業時間となります。残りの30時間は自学自習に充てられるのですが、その時間、誰かが監視しているわけではないので、勉学に対しての自覚と生活態度の自己管理責任が問われます。専攻科の場合、教員や他から指示されなくても、自主的、自律的に何をすべきかを考え、実践する力を身につけることが大切で、本来の修了要件ではないかと考えます。単位や学位は副次的な結果です。

大学3年次編入を選んだ学生の多くは、同じ系列の学部学科なら、高専本科の授業の復習+αの勉強をしていますが、専攻科では更に高度な内容や研究テーマに取り組むことができます。2年間の専攻科学生生活を有意義に過ごすことができれば大学院生なみの力がつきます。この夏休みに、長期間大学や企業で課題に取り組みたい学生や、海外に行き語学力や視野を広げたい学生もいます。専攻科ではそれらの活動にも単位を与えています。もちろん、研究室や図書館で研究や勉学に励む学生も多く、様々な勉学条件を自由に選択できるのが専攻科のメリットで、それを享受したい本科のトップレベルの学生が進学しているのも特長です。

JABEEへの取り組み状況



JABEE 対応委員長
山城 秀之

沖縄高専では平成 23 年度の日本技術者教育認定機構 (JABEE) 認定を目指し、現在 4 種類のプログラム (機械システム工学、情報通信システム工学、メディア情報工学、生物資源工学) が進行しています。各教育プログラムは、沖縄高専の本科 4、5 年生および専攻科 1、2 年生のカリキュラムで構成されています。JABEE の認定を受けると、専攻科修了時あるいは大学 (JABEE 認定校) 卒業時に申請により技術士補の資格を得ることができます。

以前にも増して JABEE の根幹をなす教育改善システム、いわゆる PDCA (Plan, Do, Check, Action) サイクルがうまく回っているかが重要になってきました。点検と改善により教育の質を保証することが目的です。しかし、現状は完全な状態ではありません。改善には FD (ファカルティディベロップメント、すなわち教員による教育方法・内容等の自己点検および改善措置) が機能していることが必須となります。特に PDCA サイクルの最後の Action の部分は、改善を伴う実行段階であり最も負荷のかかる、かつ不可避の部分でもあります。

自己点検を踏まえて改善を行うことは当然のことなのですが、実際は多くの負荷と縛りを伴います。専攻科 (今年) 認証評価 (来年) JABEE (再来年) が絡み合って互いに縛りあい、身動きをとりにくい状況も一部生じています。点検に関する書類作成を複数の委員会で行うこともあり効率アップが必要です、歯車を回すここが踏ん張りどころでもあります。皆様の益々のご支援ご協力、どうぞよろしくお願いいたします。



学生相談室より



学生相談室長
小池 寿俊

学生の皆さんの悩みや心配事の相談にのり、問題解決の手助けをすることを主な目的として、沖縄高専の開校と同時に始まった学生相談室も 6 年目を迎えました。昨年度「就職試験がうまくいかない」などと言う悩みを聞き、「最終学年の 5 年生までそろった」と感慨を抱きましたが、今年はさらに専攻科生もいます。初めて学生相談室長をやらせていただいた 3 年前とは、学生も彼らの抱える問題も多様化しています。このように 6 年目を迎えた学生相談室ですが、保護者の方だけでなく学生の中にも、活動だけでなく存在もまだ十分には知られていないのではないかと思います。相談室では、主に次のような活動を行っています。(1) 非常勤カウンセラー (臨床心理士) によるカウンセリング、

(2) 相談員による相談受付、(3) 学生を対象とした講演、アンケート等、(4) 教職員を対象とする講演等。

最も目に見える活動はカウンセラーによるカウンセリングですが、今年度は男性カウンセラーと女性カウンセラーのお二人に、それぞれ週に一回一日につき 3 時間対応していただいております。最近は利用者数が増え、時間の調整が大変な日も少なくありません。また、各学科から 1 名ずつの教員も相談員として相談室のメンバーとなっており、研究室だけでなく相談室でも学生の皆さんを待っています。放課後の相談室には、ほぼ毎日カウンセラーか相談員のどちらかが入るようにしています。

今まで何度も「相談室」という言葉を使いましたが、実態は保健室の横にある小さな部屋です。実際には、保健室そして看護師さんが多くの仕事や学生の対応をしています。看護師さんはもっとも重要な相談室のメンバーです。

今後も、このような相談室をより多くの皆さんに知っていただき、困ったときには相談室やそのメンバーを思い浮かべていただくよう、さまざまな取り組みを行っていききたいと思います。

図書館より

図書館長 山城 光

図書館も設置から6年目となり、多くの方々の協力の下、図書館の資料の充実が図られてきました。そこで今回は改めて図書館の現況についてお伝えします。(平成21年7月現在)

○開館時間

【通常期】 平日:8:40 ~ 20:00 土曜:9:00 ~ 17:00 日曜・祝祭日:閉館

【休業期】 平日:8:40 ~ 17:00 土日・祝祭日:閉館

○**座席数**:100席(延面積:740m²)

○**蔵書冊数**:約4万8千冊(うち洋書約1万4千冊) 視聴覚資料:約1250点

○**雑誌**:約500種(継続購入約90種)

○**新聞**:8紙(うち英字2紙)

○**学生への年間貸出冊数**:37,173冊(平成20年度実績)

○**年間貸出冊数(学生一人当たり:H20データ)**:約45冊(多読用図書の貸出含む)
約37冊(多読用図書の貸出除く)

全国高専の平均:約7冊(「日本の図書館2008」(社)日本図書館協会刊による)

○主要コーナーの図書紹介

閲覧室図書:学習用から趣味の本までが揃い、一番多くの棚を占める。

多読用図書:英語の多読学習用の図書。平成20年度に設置され、約1万冊を所蔵。

就職・進学図書:就職や進学に関する図書を約360冊揃えている。

○**学外者への貸出**:申請書に必要事項を記入し、身分証の提示、写真(3×2.5cm)の提出により利用証を交付。

○**学習支援の一環として教材作成支援ツール(ノートPC、ビデオカメラ、プロジェクタ、アンプ等)を貸出。**
(学生が使用する場合は、教員指導の元で貸出。)

～最後に～

高専図書館は学生・教職員だけでなく地域住民及び保護者の皆様にも開放されていますので、お気軽にご利用下さい。



保健室より

—新型インフルエンザ注意—



学生生活を有意義で充実に送るためには、まず、“健康である”ことが重要です。“健康である”ことへの過信や無関心から、思いがけない病気を招く事があります。“自分の身体は自分で守ること”を心がけ、日頃から健康管理を怠らないようにしましょう。

保健室では、看護師(2名)が始業前から部活終了時まで在室し、学生のケガや疾病に対する応急処置をはじめ、定期健康診断の実施や健康管理のための指導を行っています。身体の調子が優れない時はもちろん、さまざまな相談にも応じています。放課後、身長・体重・血圧測定にも利用されています。

月に一度(第2木曜日)は学校医の山城先生(内科)が来校され、健康相談に対応されています。毎週2回(月曜日・木曜日)はカウンセラーによる心の健康相談(3時間)があり一人1時間のカウンセリングが行われています。限られた時間なので予約が必要な時もあります。保健室はカウンセラーへの紹介の窓口を担っています。また、毎週3回(火曜日・水曜日・金曜日)は学生相談員(教員)による学生相談(1時間)も設けられています。心身の悩みは自分だけで抱え込まず、このような、学生の為に設定された時間・場を、大いに活用して欲しいと思っています。

学校全体の健康意識をたかめるため、毎月「保健室だより」を学生・教職員の皆さんへメール発信しています。その中より“新型インフルエンザ”について、“予防法のポイント”を紹介します。

- ①外出後のうがい・手洗いを励行しましょう。
- ②咳エチケットを心がけましょう(必要時はマスクで口・鼻を被う)。
- ③適度な湿度で鼻や喉を乾燥から守りましょう。
- ④人混みへの外出を避けましょう。
- ⑤十分な休養と栄養をとりましょう。



保護者や教職員の協力を得ながら、学生の皆さんの健康づくりに役立つようサポートして行きます。

(保健室への連絡:直通 0980-55-4054 看護師 武村クニ子、吉浜 真由美)

沖縄高専地域共同テクノセンター活動紹介

沖縄高専では地域共同テクノセンターを設置し、地域社会との連携・交流の推進や企業等との技術交流、共同研究や受託研究を行っています。また、沖縄高専の施設見学会・沖縄高専フォーラム・沖縄高専北部地域産学連携フォーラム等を実施し、産業界との交流も図っております。

一方、やんばるの産業まつり・沖縄の産業まつり等の各種イベントへ積極的に参加し、沖縄高専の教育研究の地域への発信も行っております。

理科教育支援として、本島および離島地域の小中学校への出前授業を通じて人材育成にも寄与しております。また、技術講習会等を開催し、教育研究活動の充実・活性化を図っております。



やんばるの産業まつり



沖縄高専フォーラム



沖縄高専北部地域産学連携フォーラム



沖縄高専の施設見学会

学生会より



学生会長
機械システム工学科4年
安里 哲

今年度より学生会長を務めております、機械システム工学科4年の安里哲です。

今年度の学生会は、昨年度からの「好きです、沖縄高専」を引き続きテーマとして掲げ、学生や教員、そして地域の方々が好きになれる沖縄高専を作ること目標に誠心誠意努力をしています。

学生会主催行事や体育祭、高専祭などの学生会活動を通して、学年を越えた先輩と後輩の交流、他学科の仲間達との友情を深めていくことで、未来ある技術者育成の一助となるよう、学生会一同邁進してまいります。

役 職	氏 名
委員長	安里哲
副委員長	愛澤優 喜納枝里紗
総務局長	屋良朝紀
総務係	宇江城貴仁 宮里和人
総務局	前原唯人 長田匡司 松田祥揮 伊礼吉充 奥平龍ノ介 名城結花
会計局長	町田宗文
会計係	上里優貴 崎濱秀哉 上原大輝 福井隆浩
会計局	比嘉良鳳
広報局長	波照間さやか
広報係	座間味愛乃 金城匡 城間ひかる 津波古渉太
広報局	田口みなみ 一ノ瀬翔吾 兼城優 青山千博
渉外局長	清水正義
渉外係	石川大 久保田浩幸 佐渡山史矢 伊波幸紀
渉外局	新川翔也
風紀局長	田村慧
風紀係	親泊由理 宮城桃子

クラスマッチ

沖縄高専では、前期1回、後期1回に定期的にクラスマッチを行っています。

【体育系の競技】

フットサル・バスケ・バレー・テニス・卓球等

【文科系の競技】

将棋・クイズ・オセロ・百人一首等

上記の競技に各学級の代表者が出場し、競技の結果だけではなく、参加率も得点に含めて、全学年の中から総合優勝の学級を決定します。



体 育 祭

平成21年度4月29日(水)に本校総合グラウンドにて第5回目の体育祭が行われました。今年度より学校行事となったことで、全学生800人以上の参加となり、過去最大規模の体育祭となりました。

【競技内容】

- ・ 学年で最速の学級はどこだ!? 「学級リレー」
- ・ 数々の難関を乗り越え、栄光を掴み取れ! 「障害物競走」
- ・ 目の前の敵を倒すのみ!! 「騎馬戦」 等

熱い戦いを勝ち抜き、栄冠ある学科優勝に輝いたのは『機械システム工学科』でした。

今回の体育祭に参加してくれた学生の皆さん、本当にお疲れ様でした。また、4月の忙しい時期から体育祭開催に向けて尽力してくれた運営委員のみなさん、暑い中お集まりいただいた保護者の皆様、ありがとうございました。



高 専 祭

開校から今年で第5回目を迎える「高専祭」。沖縄高専のメインイベントとも言える、年に一回のお祭りです!!

各学級が全員で一つとなり、劇や映画やテーマパーク、屋台やお化け屋敷などなど...。それらすべてが非常に高いクオリティを持っており、これぞ沖縄高専の高専祭と言えます。また、普通高校とは違って、1~5年生の幅広い年齢層が在学している高専では、1・2年生の若さ溢れる出し物や、3・4年生の学科の特色を生かした出し物。そして5年生による高専生活の集大成の作品。学年ごとに違った個性を持つ企画・作品・出し物は、来場者の皆様に驚かせ、そして楽しませてくれるでしょう。

今年度の高専祭の準備は高専祭実行委員長の赤嶺海を中心にすでに動き出しており、高専祭を成功させるために全力で頑張っています。

第5回目も沖縄高専の魅力をも十分に発揮した高専祭にしていきたいです。

皆様のご来場、お待ちしております!!



寮生会より

男子寮長あいさつ



男子寮長
情報通信システム工学科4年
長 田 旭 史

今年は男子寮生会と女子寮生会にわけてから2年目です。

2年目は、1年目に比べて仕事ははつきりするので、仕事がやりやすくなるかと思っていたのですが、やはりそんなことはなくて大変です。次から次へとやることが出てきて、大変さは増したようにも感じます。実際、大変だと思うのは副寮長がまだいないからだと思います(汗)。ですが、去年から引き続き男子寮生が暮らしやすい寮生活にするよう、男子寮生会役員みんなで頑張るので、どうぞよろしくお願いします。悔いの残らないように燃え尽ききれないようにします。(副寮長は後期に選出します。)

女子寮長あいさつ



女子寮長
機械システム工学科4年
城 間 ひかる

女子寮長の城間ひかるです。今年度も女子寮生は定員ぎりぎりの約143名という大所帯で寮生活を行っています。やはり、これだけの人数での共同生活となると意見の衝突や認識の違いなど問題が沢山出てきます。それらの問題を解決するため、女子寮では女子寮生集会を開いて意見交換や話し合いを行ったり、寮生活での諸注意等を行ったりしています。寮生活を通して、自立性や協調性、思いやりなど様々なことを学び、今後社会に出たときに活かしていけるような学生寮にしたいと考えています。

至らないところもあると思いますが、女子寮生全員が楽しく、快適に過ごせるよう頑張りますので、皆様のご理解とご協力よろしくお願いいたします。

寮生会活動報告

今年度で6年目を迎える沖縄高専の学生寮は、4月5日(日)に開寮式、寮対面式を行い、寮生活がスタートしました。本科、専攻科生も含め、寮生は557人と定員人数いっぱいまでに膨れ上がりました。4月は新寮生に対して、寮生活の指導が主な活動となりました。4月末の27日(月)には全寮生で学生寮避難訓練を行い、寮生活の安全面について確認しました。5月19日(火)には寮生会則改正案の決議を取る寮生総会を行いました。5月26日(水)には今年度初の全体清掃。6月24日(水)に2回目の全体清掃。25日(木)に今年度の予算案の承認をする臨時寮生総会を行いました。また、7月1日(水)に企画広報委員会主催の夏の寮生祭を行い、同月5日(日)にはオープンキャンパスでの寮内見学ツアーを行いました。

平成21年度前期の寮関連行事	
4月 4日(土)	入寮開始、入寮式(1年)
5日(日)	開寮式、新入寮生対面式
27日(月)	学生寮避難訓練
5月19日(火)	寮生総会
26日(水)	全体清掃
6月24日(水)	全体清掃
25日(木)	臨時寮生総会
7月 1日(水)	夏の寮生祭
5日(日)	オープンキャンパス
22日(水)	全体清掃

【夏の寮生祭】 平成21年7月1日(水)



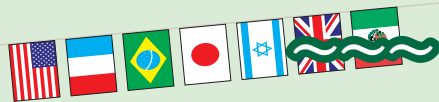
寮生会企画広報委員会主催で寮生祭実行委員会を中心とし、体育館アリーナにおいて実施されました。今年度は寮生が参加するゲームを中心にプログラムを組み、バンド演奏、ダンスを行いました。準備の合間には1テラのHDやヘッドフォン、ルームインテリアなどの豪華賞品が当たる部屋番号での抽選会を行い、大変盛り上がりました。



【オープンキャンパス】 平成21年7月5日(日)



例年同様、寮内見学ツアーや、寮生活を紹介するパネル展示を行いました。学生寮生活を垣間見る事が出来る機会に、沖縄高専へ入学を志している中学生の皆さんをはじめ多くの見学がありました。また、昼食時間帯には寮食の試食会も行われ、多くの来場者が体験されていました。



留学生紹介



留学生

留学生活 バングラデシュ出身 ホサイン モハンマド マルフ さん



情報通信システム工学科3年
ホサイン モハンマド マルフ

私の出身はバングラデシュです。母国と沖縄のどこが違うかというと、母国にいたときはお母さんが毎朝早く起こしてくれました。しかし、日本に留学したあとは、自分の責任を自分で取らなければなりません。文化の違いはありますが、それはあまり気にしていません。むしろ沖縄の、そして日本の文化を楽しみながら学んでいます。

東京にいたときに、先輩からいろいろ教えてもらいました。高専の勉強は難しいが、頑張れば、できるなどの助言をもらいました。助言はほとんど合っていましたが、一つだけ違っていました。高専の生活は寂しいということを聞いたのですが、沖縄高専は違いました。沖縄の人たちは優しいです。自分も、遠いバングラデシュの一人の留学生では

なく、沖縄高専の普通の学生として生活を送りたいと思っています。国籍の違いや、年齢など問題になっていますが、日本人や外国人などと考えずに、人間同士としてみんなと一緒に楽しい毎日を送りたいと思います。これを果たすために、沖縄高専の一人の学生として積極的に多くの行事に参加していきたいと考えています。

高専に在学するのは3年間です。この3年間は長いかわかりませんが、忘れられない思い出のある高専生活が送れることを願っています。

留学生

夢の留学生活 ラオス出身 パンニウォン アヌラック さん



メディア情報工学科3年
パンニウォン アヌラック

私はパンニウォン アヌラックと呼びます、ラオスから来ました。ラオスとはどこにあるのか？どんな国なの？最初来たとき皆たくさん質問したので、ここでラオスのことを紹介したいと思います。ラオスは東南アジアにある国で、海がない国とか、タイとベトナムの間にある国とかが分かりやすいと思います。ラオスといえば、三つの有名な物があります。北部の世界遺産のラウンパバン町、中部のタートラウン寺、南部の世界遺産のワットプーチャンパーサク寺です。ラオスはラオス語を使っていて、70%以上の人口は仏教の人です。ラオスをそのような国と考えてみてください。

私は高校生を始め、日本に留学したいを思っていました、そうして大学で勉強したとき、文部科学省の試験を受け合格しました。そのときは本当にうれしかったです。日本に来たのは去年の4月3日で、東京で日本語の勉強を始めました。一年間で色々な国から来た友達と一緒に勉強したのはとても良かったです。しかし、卒業したら皆別れて各自の高専に行ってしまいました。そのときは悲しかったけど、勉強のことを考えたらそんなことを捨てた方がいいと思いました。そして、今年の4月3日に沖縄に来ました、最初は生活のこととか勉強のこととか大変だと思いましたけれども、先生方と友達たちはとても親切で、分からないことも教えてくれて心配することもだんだんなくなりました。本当に大変なことじゃないとよく分かりました。本当に皆ありがたいです。



沖縄工業高等専門学校
後援会長

宮 城 秋 夫

後援会長あいさつ

今年 3 月に 1 期生がそれぞれの新たな夢に向かって旅立ち、今年から設置された専攻科、6 期生を迎え、後援会会員も総勢 830 名余となり、大きな組織になってまいりました。

昨年の学生達の活躍は、女子バスケット、女子テニスの全国高専大会での活躍、パソコン甲子園でのグランプリの獲得。ロボットコンテストでは九州そして全国でも優勝など、目覚ましいものがあり、本当に素晴らしい学生達です。また、2 期生の就職・進学内定状況も厳しい経済情勢の中、よい成績を残しつつあります。とても頼もしいかぎりであり、県経済産業界等からも活躍が期待されています。

後援会としても、豊かな人間性及び確かな専門技術者の育成と夢の持てる環境づくりに向けて、更に学校側とも連携し支援体制を強化していきます。

今後とも『明るく、楽しい、元気のある』後援会活動のため、会員お一人おひとりのご協力ご指導を宜しくお願い申し上げます。

最後になりましたが、沖縄高専のますますのご発展と学生達の大いなる活躍を祈念し、後援会一同で支援して参りたいと存じます。

なお、後援会活動に対するお問い合わせは沖縄高専後援会事務局(0980 - 50 - 0133)までお願いします。

● 沖縄高専内に「留学生交流促進センター」設置 ●

4 月 1 日(水)に国立高等専門学校における外国人留学生の受入れ及び教育並びに海外への留学生等の派遣に関する支援を行うことにより、国立高等専門学校における留学生交流の推進を図ることを目的として、沖縄高専に全国共同利用施設として「留学生交流促進センター」が設置されました。6 月 20 日(土)・21 日(日)の 2 日間にわたり、初の事業となる「留学生・国際交流担当教員研究集会」を開催しました。

研究集会には沖縄工業高等専門学校メディア棟視聴覚ホールをメイン会場に、留学生・国際交流担当教員のスキルアップ、ネットワークの整備を目的として、全国高専から 100 余名(事例発表者の専攻科学生 3 名を含む。)が参加しました。

また、20 日(土)には研究集会に先立ってセンターの開所式が行われ、留学生交流促進センター運営専門委員が見守る中、センター長の糸村校長・吉川准教授とともに、「留学生交流促進センター」銘板の除幕式がおこなわれました。



銘板を前に記念撮影する留学生(向かって左から(マルフ君、アマラック君、ディネッシュ君、ハンさん(右端))とセンター職員(宮内さん、吉川准教授)



除幕をする関係者(向かって左から吉川准教授、糸村センター長、木谷理事、冷水理事)

オープンキャンパス参加者数の推移



学生課 教務係

平成 16 年度 **952** 人【中学生（3 年生）457, 保護者 403, 教員 89, その他 3】

平成 17 年度 **690** 人【中学生 266, 保護者 275, 教員 50, その他 99】

平成 18 年度 **617** 人【封筒配布者】（全体）

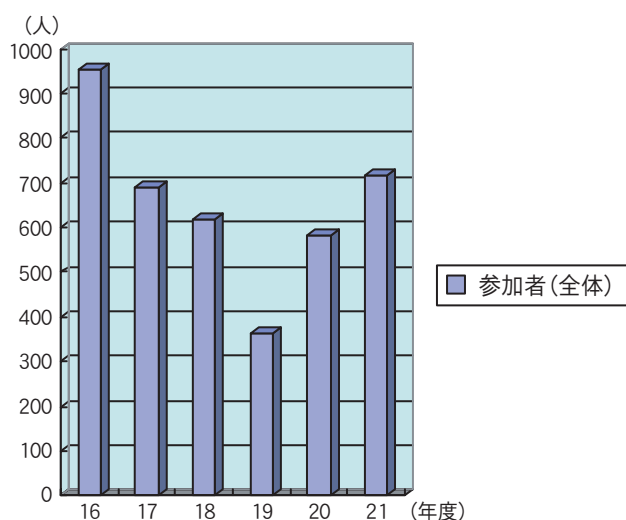
平成 19 年度 **362** 人【受付確認数】（うち中学生数 136）

平成 20 年度 **583** 人【中学生 201, 保護者 222, 教員 3, その他 157】

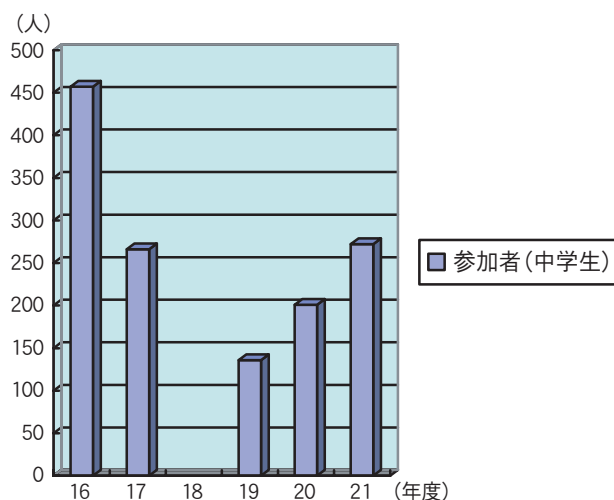
平成 21 年度 **717** 人【中学生 272, 保護者 269, その他 176】

※平成 18 年度については、細かい受付をせず、封筒配布数だけで積算しているので、内訳が出ていません。

参加者数推移(全体)



参加者数推移(中学生)



ロボコンの紹介



プロコンの紹介

● 平成21年度九州沖縄地区国立工業高等専門学校体育大会結果一覧 ●

競技種目	競 技 種 目	会 場	備 考
バスケットボール (男子)	予選リーグ 沖縄67—52北九州 沖縄90—64八代 決勝トーナメント 沖縄45—49久留米	べっぶアリーナ	第3位 全国大会出場
バスケットボール (女子)	予選リーグ 沖縄52—38久留米 沖縄68—20大分 決勝トーナメント 沖縄45—13八代 沖縄42—53有明	べっぶアリーナ	準優勝
ハンドボール	1 回戦 沖縄35—16久留米 2 回戦 沖縄13—35八代	山鹿市立総合体育館 山鹿市鹿本体育館	
テニス (男子)	団体戦 沖縄1—2八代 シングルス 前蔵2—6都城 名幸2—6鹿児島 知花6—7佐世保 仲村6—2有明、6—0八代、3—6佐世保 ダブルス 名幸・仲村6—3佐世保、6—1有明、1—6鹿児島 糸数・仲村4—6熊本電波 知花・前蔵4—6八代 金城・棚原5—7都城	熊本県民総合運動 公園パークドーム	団体戦 準優勝 ダブルス 重・宮城 準優勝
テニス (女子)	団体戦 沖縄3—0北九州、3—0大分、1—2有明 シングルス 宮城6—0大分、6—7有明 重6—0北九州、4—6佐世保 ダブルス 重・宮城6—4有明、6—3佐世保、4—6佐世保 奥那覇・松井6—2八代、2—6佐世保		団体戦 準優勝 ダブルス 重・宮城 準優勝
野 球	沖縄6—7大分	大分スポーツ公園野球場 新日鐵明野球場	
卓球 (男子)	団体戦 沖縄0—3久留米、0—3鹿児島 ダブルス 當間・友寄0—3北九州、與那國・新田1—3久留米 シングルス 宇根0—3佐世保 新田0—3久留米 松田0—3北九州 當間0—3八代 金沢0—3有明 友寄0—3北九州 與那國0—3都城	別府市民体育館	
卓球 (女子)	団体戦 沖縄2—1都城、0—2八代 ダブルス 出水・前里0—3大分 和田・新川1—3北九州 シングルス 和田シード、3—0八代、3—0大分、3—1北九州、0—3大分 新川3—0有明、3—1都城、0—3北九州 前里3—0佐世保、0—3八代 出水0—3北九州	別府市民体育館	女子シングルス 和田 準優勝 全国大会出場
剣 道	団体戦 予選リーグ 沖縄(負) —(勝) 北九州、(負) —(勝) 佐世保 個人戦 平良(負) —(勝) 鹿児島 一ノ瀬(負) —(勝) 大分 比嘉(負) —(勝) 鹿児島	大分工業高等専門 学校第1体育館	
陸上 (男子)	100m 予選2組 佐事5位(12.83)、予選3組 島元5位(12.20) 予選4組 宮平6位(12.14) 400m 予選2組 金城6位(1:03.13)、予選4組 野口6位(1:00.22) 1500m 予選1組 野村14位(4:45.54) 5000m 決勝 岸本21位(18:00.49) 110mH 予選1組 川満7位(21.29) 予選2組 高嶺5位(22.26) 予選3組 喜友名4位(20.66) 4×100m 予選2組 佐事・島元・前田・宮平5位(46.36) 4×400m 予選2組 野村・野口・喜友名・金城5位(4:05.84) 走高跳 決勝 中本6位(1m55) 走幅跳 決勝 上原3位(6m08) 砲丸投 決勝 與儀8位(9m32) 大城9位(9m06) 近藤10位(8m42)	熊本県民総合 運動公園陸上 競技場(KKWINING)	走幅跳 決勝 上原3位(6m08) 全国大会出場
陸上 (女子)	100m 予選2組 田中2位(14.25)、決勝 4位(13.98)		
バレーボール (男子)	予選リーグ 沖縄23—25有明、15—25 沖縄19—25都城、14—25	玉名市総合体育館	
バドミントン (男子)	団体戦 沖縄0—3八代 ダブルス 屋良・玉城2—1都城、2—0大分、0—2有明 金城・伊波2—0熊本電波、0—2佐世保 シングルス 伊波0—2八代 玉城0—2鹿児島 金城0—2北九州 屋良2—0大分 0—2有明	熊本県立総合体育館	
バドミントン (女子)	団体戦 沖縄1—2北九州 ダブルス 瑞慶覧・久貝2—0大分、0—2八代 与那嶺・増山0—2北九州 シングルス 与那嶺0—2都城 久貝0—2北九州 増山0—2八代 瑞慶覧2—0佐世保、2—0熊本電波、1—2八代		

赤字は沖縄高専を表します。

● 平成21年度九州沖縄地区国立工業高等専門学校体育大会の結果について ●

平成21年7月10日(金)～19日(日)の期間中開催された「平成21年度九州沖縄地区国立工業高等専門学校体育大会」において、本校からテニス部(男女)、卓球部(男女)、バスケットボール部(男女)、バドミントン部(男女)、ハンドボール部、男子バレーボール部、硬式野球部、陸上同好会(男女)及び剣道同好会が出場し、九州地区の各高専と対戦しました。

大会では、各部・同好会ともに健闘し、日頃の練習の成果を存分に発揮することができました。特に卓球部、男子バスケットボール部及び陸上同好会については、8月下旬に九州沖縄各県で開催される全国大会に出場する運びとなり、更なる活躍が期待されます。

なお、バスケットボール競技については、本校運営のもと8月22日(土)～23日(日)に宜野湾市(宜野湾市立体育館、宜野湾勤労者体育センター)で開催しますので、是非ご来場いただき本校男子バスケットボール部への応援よろしく願います。

アイデア対決・全国高等専門学校ロボットコンテスト2009

九州沖縄地区大会 開催!



アイデア対決・全国高等専門学校
ロボットコンテスト2009

九州沖縄地区大会

《出場校》久留米高専、有明高専、北九州高専、佐世保高専、熊本電波高専、八代高専、大分高専、都城高専、鹿児島高専、沖縄高専

平成21年11月1日(日)

競技課題: DANCIN' COUPLE

開場: 午前11時30分 開演: 午後0時30分

(ダンシングカップル)

会場: 21世紀の森体育館

〒950-0015 沖縄県名護市大南2-1-1



申込方法

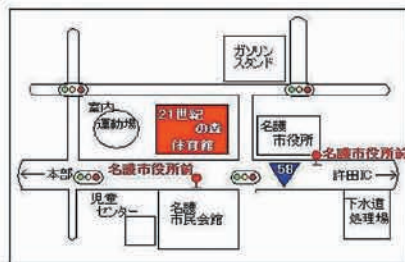
郵便往復ハガキの往信用裏面に郵便番号、住所、氏名、電話番号及び観覧希望人数(1枚につき2名まで)を、返信用表面に郵便番号、住所、氏名を記入の上、下記の住所までお申し込みください。後日、入場整理券をお送りします。

※なお、応募者多数の場合は抽選となりますのでご了承ください。

〒905-2192 名護市辺野古905

沖縄高専「ロボコン」係

〈締切〉平成21年10月16日(金)必着



主催: 高等専門学校連合会 NHK NHKエンタープライズ

後援: 文部科学省 日本機械学会 日本ロボット学会 電気学会 沖縄県教育委員会 名護市 名護市教育委員会

特別協賛: 本田技研工業株式会社

協賛: 沖縄電力株式会社 九州電力株式会社 マプチモーター株式会社 株式会社 安川電機 東京エレクトロン FE株式会社

協力: ロンシール工業株式会社 運営: 沖縄工業高等専門学校 運営協力: NHKブラネット九州

大会に関するお問い合わせ

沖縄工業高等専門学校「ロボコン」係

TEL 0980-55-4032

(詳細は公式ホームページにて) <http://www.official-robocon.com>

平成21年度人事異動について

< 4月1日付け異動 >

【採用】

- ▲機械システム工学科助教 下 嶋 賢
- ▲情報通信システム工学科助教 金 城 伊智子
- ▲メディア情報工学科講師 鈴 木 大 作
- ▲総合科学科講師 武 田 ひとみ

【転入】

- ▲学生課課長補佐 多和田 真 利(琉球大学医学部専門職員)
- ▲学生課教務係員 折 尾 信 幸(滋賀大学学生支援課)
- ▲学生課看護師 武 村 クニ子(琉球大学医学部附属病院看護部)

【配置替】

- ▲学生課寮務係員 比 嘉 道 也(総務課総務係員)



< 7月1日付け異動 >

【採用】

- ▲留学生交流促進センター准教授 吉 川 友 子

【転入】

- ▲総務課課長補佐 鉢 嶺 元 安(琉球大学財務部財務企画課資産管理係長)
- ▲総務課研究連携係長 名 城 道 広(琉球大学財務部資金管理課資金・管理係主任)
- ▲総務課施設係主任 宮 良 透(琉球大学施設運営部環境整備課病院設備係主任)
- ▲学生課寮務係長 稲 福 真(琉球大学学生部入試課入試第二係主任)

【配置替】

- ▲総務課総務係員 平 良 直 人(技術支援室)
- ▲学生課学生係員 佐加伊 裕 也(学生課寮務係員)

【転出】

- ▲琉球大学医学部附属病院医療支援課課長代理 許 田 正 勝(総務課課長補佐)
- ▲琉球大学医学部附属病院経営管理課病院用度係長 崎 山 英 樹(総務課研究連携係長)
- ▲琉球大学施設運営部施設企画課環境・施設マネジメント室活用推進係主任 石 川 清 史(総務課施設係主任)
- ▲琉球大学学生部入試課入試第一係主任 屋 宜 俊 介(総務課契約管理係員)
- ▲琉球大学総務部総務課総務係員 嘉 数 絵都子(総務課総務係員)
- ▲琉球大学学生部教務課教務第二係員 神 谷 隆 彦(学生課学生係員)

< 7月16日付け異動 >

【転出】

- ▲独立行政法人国立高等専門学校機構本部財務企画係 射手矢 涼 子(学生課教務係員)

【配置替】

- ▲学生課教務係員 比嘉 信(技術支援室)

平成21年度（後期）行事予定表

10 月			11 月			12 月			1 月			2 月			3 月		
1	木		1	日	ロボットコンテスト九州・沖縄地区大会	1	火		1	金	元旦	1	月		1	月	完全閉寮（9日まで） 臨時休業（24日まで） 卒業認定会議
2	金		2	月		2	水		2	土		2	火	定期学生会議会（学生会主催）	2	火	
3	土		3	火	文化の日	3	木	水曜日の授業	3	日		3	水		3	水	
4	日		4	水	校内美化（学生会主催）	4	金		4	月	開寮	4	木		4	木	進級認定会議
5	月		5	木		5	土		5	火	開寮式	5	金		5	金	
6	火		6	金		6	日		6	水		6	土		6	土	
7	水	消防訓練（予定） 地域こみ拾い（学生会主催）	7	土		7	月		7	木		7	日		7	日	
8	木		8	日		8	火		8	金	月曜日の授業	8	月		8	月	
9	金		9	月		9	水	学生集会（学生会主催）	9	土	推薦選抜 地域こみ拾い・地域交流行事（学生会主催）	9	火		9	火	
10	土		10	火		10	木		10	日		10	水	予備日 （1～5年生、専攻科生）	10	水	
11	日		11	水		11	金		11	月	成人の日	11	木	建国記念の日	11	木	
12	月	体育の日	12	木		12	土	ツデーマーチ（学生会主催）？	12	火		12	金	後学期期末試験 （17日まで）	12	金	
13	火		13	金		13	日		13	水	予備日（1～5年生、専攻科生） 国立高等専門学校学習到達度試験（3年生） クラスマッチ（学生会主催）	13	土		13	土	
14	水	月曜日の授業	14	土	高専祭準備 パソコン甲子園（15日まで）	14	月		14	木		14	日		14	日	
15	木		15	日	高専祭 入試説明会（本校）	15	火		15	金		15	月		15	月	
16	金		16	月	高専祭後片付け 高専祭代休	16	水	定期学生会議会（学生会主催）	16	土	専門実習選抜	16	火		16	火	
17	土	プログラミングコンテスト （18日まで）	17	火	TOEIC試験（4年生）	17	木		17	日		17	水		17	水	
18	日		18	水	学生会長・副会長選挙 （20日まで）	18	金	居室点検	18	月		18	木	学生寮居室点検・清掃（19日まで） 試験返却日（19日まで）	18	木	
19	月		19	木	月曜日の授業 TOEIC試験（5年生）	19	土	閉寮式	19	火		19	金	終業式	19	金	
20	火		20	金		20	日	閉寮	20	水		20	土	閉寮式	20	土	卒業式（予定）
21	水		21	土		21	月	臨時休業 完全閉寮（1月3日まで）	21	木		21	日	学力及び帰国子女選抜 閉寮	21	日	春分の日
22	木		22	日	ロボットコンテスト全国大会	22	火		22	金		22	月	臨時休業日（26日まで）	22	月	振替休日
23	金		23	月	勤労感謝の日	23	水	天皇誕生日	23	土		23	火		23	火	
24	土		24	火		24	木	臨時休業（25日まで）	24	日		24	水		24	水	
25	日		25	水		25	金		25	月		25	木		25	木	学年末休業（31日まで）
26	月		26	木		26	土	冬季休業（1月5日まで）	26	火		26	金		26	金	
27	火		27	金		27	日		27	水		27	土		27	土	
28	水		28	土		28	月		28	木		28	日		28	日	
29	木		29	日		29	火		29	金					29	月	
30	金	臨時休業日	30	月	後学期中間試験 （12月2日まで）	30	水		30	土					30	火	
31	土	ロボットコンテスト九州・沖縄地区大会リハーサル 県高校新人体育大会（11月3日まで）				31	木		31	日					31	水	
・学生寮居室点検・清掃			・学生寮居室点検・清掃			・校内美化（学生会主催冬季休業前） ・フックハンティング（学生会図書委員（ベント）） ・冬の寮祭（寮生会）			・部対抗体育大会（学生会主催） ・学生寮居室点検・清掃			・校内美化（学生会主催年度末） ・卒業生を送る会（学生会主催） ・寮生総会（寮生会）					

教務系行事 学生系行事 学生寮行事 学生会行事